

## 仙台保健福祉専門学校 令和2年度学校関係者評価委員会 報告

学校法人菅原学園 仙台保健福祉専門学校では、本校規定に基づき、令和2年8月26日に、学校関係者評価委員会を開催いたしました。内容につきましては以下の通りご報告いたします。

今後の教育活動や学校運営に反映させるべく、各委員からのご意見やご指導を真摯に受け止め、教職員一同努力してまいります。

1. 日 時 令和2年8月26日（水）15:00～15:50
2. 場 所 仙台保健福祉専門学校 会議室
3. 出席者

### 【令和2年度 学校関係者評価委員】

	氏 名	所 属 団 体	備 考
1	高 瀬 貞 夫	医療法人 和康会 仙台クローバークリニック院長	理学療法科 作業療法科
2	山 田 喜 広	医療法人 Good Smiles 鹿島デンタルオフィス院長	歯科衛生科
3	大 塚 涼 子	社会福祉協議会 ラ・サール会 児童養護施設ラ・サールホーム施設長	こども科

### 【学校教職員】

学術顧問：真柳 秀昭                      副校長：菅原 努                      教頭：横山 さゆり  
理学療法科科长：山田 剛                      作業療法科科长：佐藤 元彦  
歯科衛生科科长：菊地 千代子                      こども科科长：工藤愛美

### 4. 次第

- (1) 開 会
- (2) 開会挨拶                      学術顧問 真柳 秀昭
- (3) 議長選出                      議長 山田 喜広
- (4) 自己評価報告                      副校長 菅原 努
- (5) 討議・意見交換                      各委員
- (6) その他
- (7) 閉会挨拶                      学術顧問 真柳 秀昭
- (8) 閉会

## 5. 自己評価結果とご意見に対する対応

### (1) 教育理念・目標

評価項目の達成度は昨年同様の結果となった。全ての学科が職業実践専門課程として認可されているので、常に教育目標や育成人材等を意識した教育が行われている。

### (2) 学校運営

地域社会貢献が科によって差が出てしまう。学校全体として各企業や業界と連携を取りながら、更に地域との交流を深めたい。また電子決済が学内で充実したのでスピード化が図られている。

### (3) 教育活動

理学療法科・作業療法科はカリキュラムの見直しを行い、令和2年度から新カリキュラムが開した。教員の充足も必要であり、実務経験を重ねた人材が必要である。授業評価については早急に策定を進めたい。

### (4) 学習成果

理学療法科の国家試験合格率が開校以来初の100%を達成できた。就職率も全ての科が100%を達成している。これからはこの結果の数字を継続させることを目標とする。

### (5) 学生支援

評価項目の卒業生への支援体制と社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備という点が劣った。昨年同様、マンパワーの不足から同窓会の立ち上げができていない。卒業生が現場で経験を積み、教員として戻ってきて同窓会を立ち上げるといった流れを期待したい。

学生生活環境の支援として寮の設備の劣化が挙げられた。評価委員の先生から、今の学生たちの環境が良いので、自宅での自由な生活と寮生活での「ギャップ」を殊更感じ、その「ギャップ」が就職先でも先輩とのやり取りの中で散見されるとの意見があった。

また学生食堂ではメニューや価格の見直しがあり、学生に大変好評である。

### (6) 教育環境

オープンキャンパス開催時の防災体制を早急に整備する。また経年劣化に伴う修繕には予算化して取り組み、安全に安心して学生生活を送れるよう教職員が取り組む。

### (7) 学生募集

引き続き、ガイダンスの参加やDM発送なので学生募集に繋げる。

### (8) 財務

学園のHP上で公開している。特に意見等なし。

(9) 法令遵守

こども科が教科担当者1名不足しているので引き続き改善に努める。  
将来的には第三者評価を取り入れる。

(10) 社会貢献・地域貢献

介護福祉科が毎年「車いすダンスフェスティバル」へボランティアを派遣しているので、その功労を認められ感謝状をいただいた。他科の学生のボランティア活動を更に促したい。

総括：多岐にわたりいろいろとご意見をいただいた。現在は新型コロナウイルス感染症対策の中での学生教育となっている。合格率を維持できるよう引き続き指導を行っていく。